

令和5年1月23日

大田区立入新井第五小学校

開校90周年 記念式典・祝賀会のご報告とお礼

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範 嗣

一昨日1月21日（土）に、「大田区立入新井第五小学校 開校90周年 記念式典および祝賀会」を滞りなく挙行することができましたことをご報告させていただきます。これもひとえに、PTA 黒井光明会長をはじめ、周年行事实行委員の皆様、お手伝いをいただきましたPTAのスタッフ、おやじの会の有志の皆様方のお力添えがあつてのことと、厚くお礼を申し上げます。

この周年行事については、年度当初からコロナ禍ということで、開催できるのか、開催できるとしてもどの程度の式や会を催せるのか、ぎりぎりまで悩まされた準備期間でした。しかし、国からも特に厳しい制限等が発出されなかったことが幸いし、式典・祝賀会は感染対策を講じたうえで、無事開催に漕ぎつけることができましたわけです。正直なところ、今、実行委員・PTA・学校スタッフ一同、ほっと胸を撫でおろしているところです。

今回の90周年記念式典には、大変お忙しい中を、大田区長 松原忠義 様、大田区教育委員会教育長 小黒仁史 様、大田区教育委員会教育長職務代理（本校第20代校長）三留利夫 様 他、教育委員会教育委員様、歴代校長先生方、近隣町会長様、地域教育連絡協議会委員様、旧職員・地域・同窓会の皆様、入新井ブロックの小中学校長およびPTA会長の皆様方ほか、多数のご来賓にお越しいただき、開校をお祝いすることができました。また、学校の今を預かる者として、このような機会に立ち合わせていただく光栄をいただきましたことに感謝を申し上げます。

そして何より、参会者の心に響く感動を与えたのは、5・6年生の学校の歴史紹介と、素晴らしい歌声でした。先月12月9日（金）に文部科学省・大田区教育委員会の研究発表会があったことに加え、途中17日におよぶ長い冬休みがあり、5・6年生の今回の会への準備は困難を極めました。しかし、今の本校の5・6年生は、それを何とか形にしまふ、団結力と行動力があります。本当に潜在能力の高い子供たちに、私校長を始め教職員も頭の下がる思いです。会に参列されているお客様方も、子どもたちの歌声に目を潤ませておられる方も大勢おられました。それほど、子どもたちは在校生の代表としての役割をしっかりと果たしたわけです。「起立・礼」のきびきびとした動き、背筋のピンと伸びた姿にも多くの賞賛がありました。まさに、6年生とそれをアシストする5年生が主役の会であったことを実感しています。改めて、子どもたちに感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

通常であれば、周年行事は、午前中に式典、午後に食事を共にしながらの祝賀会を行うのがスタンダードなのですが、感染防止の観点から飲食が行なえないため、お弁当をお持ち帰りいただく形での開催とさせていただきました。同窓会会長：第15代PTA会長である伊藤和弘様のご発声で、お茶ではありますが声高らかに乾杯をさせていただき、楽しく和やかに祝賀会が始まりました。

途中アトラクションとして、60年前に本校を卒業された、三笑亭夢太郎様に当時の学校の様子を楽しく語っていただき、その後、古典落語の「時そば」を演じていただきました。入五小の校歌が今でもしっかり歌えるあたりはさすが卒業生です。恩師が残念ながらお亡くなりになられた話や在校当時本校の校歌を面白おかしく替え歌にして歌っていたこともご披露いただきました。10分少々時間でしたがたくさん笑わせていただく楽しい時間となりました。

その後、6年生が舞台のスクリーンに映し出された開校当時から10年ごとに区切った学校の様々な画像に合わせ、式典の時とはまた違った視点で紹介してくれました。分かりやすい解説がテロップで入るなど、より内容が把握しやすく作られているため、参会者からも大変好評でした。学校の敷地内に家があったり校長先生の家があったりしたこと。戦争で親元を離れ、伊豆に集団疎開したこと。さらにその後戦争が激化し、静岡さえも危なくなっただけでなく、岩手県に疎開先が移ったこと。その間、入五の子どもたちがとても寂しい思いで過ごしたことなどが紹介されました。さらに、仲良し広場ができた時のこと・・・本校が様々な表彰をされてきたこと・・・校帽ができたこと・・・いりんご（アップルタートル）のできたいきさつなど、たくさんの出来事を本当に上手に紹介してくれました。

時間はあっという間に過ぎ、予定より少し早い12:00にすべてが終了しました。来賓の皆様方にご満足をいただきお帰りいただけたことを、大変嬉しく思っているところです。式典と祝賀会の合間は30分。椅子を全て片付け、祝賀会の会場をつくるために、重たい長机を何十脚と並べる仕事も、6年生がきびきびとお手伝いをしてくれたおかげで、あっという間に準備を終わらせられたことも、最後にお伝えしたいと思います。

本日、1月23日（月）朝、9:00から、祝賀会でご披露した6年生による「学校の歴史」の発表を、今度は在校生に行いました。1年生から4年生までは、入五小の知らなかったことに驚く様子が大変印象に残りました。また、5年生は、6年生への敬意というか、憧れと言いますか、尊敬の気持ちをもって一生懸命見聞きしようとしていたことがわかります。あと3か月後は自分たちがこの学校を引っ張っていくという自覚が感じられた時間でもありました。

最後に、1月26日（木）は、子どもたちが段ボールでこしらえた「お神輿」を担いで町内を練り歩く予定です。お近くを通りましたら、子どもたちに手を振っていただけますと有難く存じます。長くなりましたが、周年行事に関するご報告を終わらせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。